

統合科目

組織・発生学

《担当者名》歯学部教授 / 建部 廣明

【概要】

第一学年前期で学んだ組織発生学の重要事項を復習した後、国家試験形式の練習問題を解くことで知識を確かなものにする。

【全体目的】

組織発生学の内容を整理し、国家試験に備えることを目的とする。

【学修目標】

人体の組織構造についての知識を整理、再確認し、国家試験問題が解けるようにする。

【学修内容】

| 回 | テーマ   | 授業内容および学修課題             | 担当者   |
|---|-------|-------------------------|-------|
| 1 | 組織学   | 組織学総論および各論について復習、総括する。  | 建部 廣明 |
| 2 | 発生学   | 個体発生および歯の発生について復習、総括する。 | 建部 廣明 |
| 3 | 口腔組織学 | 口腔組織学について復習、総括する。       | 建部 廣明 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

卒業試験(筆記試験) 100%

【教科書】

「人体の構造と機能」 全国歯科衛生士教育協議会監修

「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織学・口腔生理学」

【学修の準備】

第一学年の講義内容の復習なので、教科書を持参すること。

内容も復習をしておく（各60分）

【実務経験】

建部 廣明（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

歯科医師としての実務経験をもとに、臨床に生きる講義を実践している。